

追い込み

3年生が最後の追い込みの時期を迎えました。私立高校の受験の多くが1月中旬、公立高校の前期選抜が2月2日ということで、実質2ヶ月余で受験日を迎えます。今週から三者面談も始まり、いよいよ受験シーズン到来です。今から1日1日が自分との闘いです。きっと精神的にも体力的にもきついことでしょう。特に不安感は想像以上だと思います。その受験への不安を吹き飛ばすには、やはり「しっかり勉強する」以外に方法はありません。学校としても少しでも学力を上げられるよう、今週から放課後補習を始めます。まずは入口先生が月曜日と木曜日の放課後の5時まで、数学の指導を行ってくださいます。この時間を有効に使うことで、苦手意識の克服につなげてほしいと思います。さあ、ラストスパートです。2ヶ月以上の長い闘いになりますが、自信を持って受験を迎えられるよう気合を入れて頑張してほしいと思います。(1、2年生も1年後、2年後を見据える意味でも、3年生の頑張りの様子を見て欲しいと思います。)頑張れ加中生!



言葉は文化



学生時代、長崎市内でアルバイトをしていると、店員さんたちから「島原出身やろ、言葉が独特だからすぐわかるよ」とよく言われていました。自分では自覚がないものの、けっこう方言がきつみみたいで、「そうかなあ〜」と思っていました。しかし、教員になって転勤を重ねるうちに「本当にそうだなあ」と納得したものです。一番印象に残っているのは、対馬時代ある保護者が、たくさんイカが取れたということで、職員室に持ってこられました。それを見て「たいて〜あるばい」と私がつぶやいたところ、対馬出身の先生が「いやっ、これは生よ」と真剣な顔つきで応えられました。私は「……」逆に対馬出身の先生が、「昨日、運動のしすぎで身が入ったよ!」私は「????」後になって、『筋肉痛を「身が入った」と表現する』ことを知り納得しました。いずれにしても、言葉は文化です。とても面白くもあります。標準語はもちろん大切ですが、私達は島原弁(ちなみに、島原では島原以北を北目、以南を南目と呼びますが、「南目は言葉が特にきつい」と言われていました。)をこよなく愛することで、郷土愛を深めていければと思っています。

生徒会黒板のメッセージ

やれなかった やらなかった どっちかな

(これを島原弁で表現すると、「できんじゃった、せんやった、どっちやろ」でしょうか?)